

▶ 苗床作りに取り掛かる、志多留でのお米作り
3年目の川口さん(左)と参加者



第一回 田んぼの教室開催!

こんにちは！田んぼのお便り、記念すべき第1号をお届けします!!
志多留の田んぼではいよいよ田植えのための準備が始まりました♪



第1号
2014.5



発行元
志多留地区
活性化協議会
0920-85-1755
(事務局MIT)

志多留に住む米作りのベテランが
先生になってくれました♪



水量調節のための水路づくり!



御年70を超える皆さんですが、まだまだ元気! お米作りのことを教えてください。

4月26・27日、第一回田んぼの教室が開催されました。5人の再生隊の方が参加し、稲の苗を育てるための苗床作り、田んぼの開墾作業などを行いました。
稲の苗は今ではビニールハウスで育てるのが主流ですが、志多留では、田んぼで作る「水苗代」という方法で行います。田んぼに水を張り、少し高くなる場所(苗床)を作り、そこで苗を育てます。
苗床作りは、志多留に住む野田松雄さんと米田要光さんに先生となつていただいで行いました。まるで左官屋さんのような手つきで土をならす様子はまさに職人技!お二人のようにはなかなかいき

ませんが、田んぼに足を取られながらもみんなで完成させました。
苗床が完成したあとは、再生隊のマイ田んぼの開墾作業を行いました。開墾するにはまずそこに生えている草を刈る必要があります。そこで問題となるのが「イ」という草(一般には「イグサ」と呼ばれます)。畳の材料として有名なイグサは、根がとてつもなく強く、刈り取ってもまた生えてきてしまうのです。そのため、根ごと取り除く作業が必要になります。この作業がとっても重労働!つるはしやシャベルなどをうまく使ってひたすらイグサを抜き、引っこ抜いたイグサは田んぼの境界に並べて、畔づくりに使います。泥だらけになりながら作業を続け、2日目には田んぼらしい姿となりました。



イグサ抜き。大物を狙ってしまいます



耕耘機。操るのが大変!



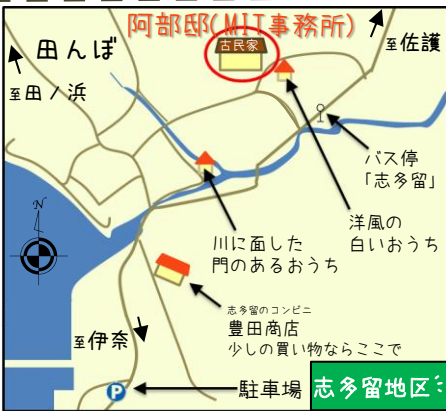
雑草だらけの場所が水田らしく!!

イグサ抜きが終わったら、耕耘機で最後の仕上げです。「トントントント」と大きな音を立てながら土を耕していく様子はなかなかのものでした。機械がない時代には、この耕す作業は、牛に道具をひかせて行っていたようですが、いつか、実際に牛にひかせてやってみたいですね♪

田んぼの奮闘記 米作りのイロハ
 〈今月のテーマ「育苗」〉

このコーナーでは毎月テーマを決め、お米づくりのイロハをお伝えしていこうと思います。今月のテーマは育苗！ということでは種子発芽についてお話します。今回また種もみは昨年とれたものです。まずは、種もみを塩水につけて身の詰まった種のみを選別します。次は種の消毒。種の周りには病原菌やカビ等、様々な微生物が付着し病気の原因となるためです。消毒には①化学農薬、②熱湯処理、③微生物などといった方法があります。今回は③で行いました。使ったのは「タフプロック」という商品。乳酸菌の一種で、この菌が種の周りに繁殖することで稲に害を及ぼす他の菌の発生を抑えます。続いて行うのが、発芽処理。種もみには「アブシシン酸」という発芽を抑える成分が含まれていますが、この成分は水に溶けやすいので、まずは水に20日以上浸けて種から追い出します。こうすることで、発芽時期がそろい

やすくなります。芽を出させるため次に必要なのが催芽処理(発芽を催す)。28〜30度で温めます(地元の方はお風呂のふたの上において温めるのだそう)。5時間から24時間で、種もみの一部が膨らんできて(はと胸状態が理想的)、芽が出る準備が整います。種は苗箱と呼ばれる溝の入ったトレイに蒔きます。この苗箱を、今回田んぼの教室で作った苗床に置き、保温などのためのビニールシートをかぶせてようやく作業の大方はおしまいです。このあと、水の調整をしつつ約30日間で田植えのための苗が育ちます。育苗はまだまだ奥が深くて面白いので、また別の機会に詳しくご紹介したいと思います。



～ 告田植えイベント予開催！ ～
 5/31

来月はいよいよ田植えです！参加希望のオーナーさんは朝10時に志多留の阿部邸前に集合してください。ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ぜひ、お越しください。たくさんの方にお会いできるのを楽しみにしております。

＊遠方の方へ＊宿泊希望の方はご連絡ください。民泊を紹介いたします。
 ＊再生隊の方へ＊5月の田んぼの教室は田植えイベントと合同で行います。なお、田植え後、6月7日には田んぼの教室も開催いたしますので、是非ご参加ください。



横一列に並び、手植えしていきます！

- ◎当日スケジュール
- 10:00 阿部邸へ集合・オリエンテーション
- 10:30 田植え体験
- 12:00 お昼ご飯
- 13:00 田んぼのお話
- 14:00 午後後の作業開始
- 16:30 作業終了・片づけ
- 17:00 解散

- ◎持ち物
- ・タオル
- ・帽子
- ・日焼け止め
- ・着替え
- ・田靴(裸足で良ければ必要ありません)
- ◎服装
- ・汚れてもいい服装でお越しください。

＊昼食はオーナー様1家族まではこちらで用意しますが、ご友人の方などはオーナー以外の方は1人あたり昼食費として500円を頂戴いたします。
 ＊田植えイベントについて、別途メールにて出欠の確認をさせていただきますので、ご回答よろしくお願ひ致します。



野田松雄さん

志多留で今もお米を作っている数少ない一人。お米作りの先生としていろいろな事を教えてくれる、田んぼで作業していると、いつも声をかけてくれる。

編集後記

田んぼ便り第1号はいかがでしたでしょうか？私自身もお米作りは初めてで、試行錯誤しながらですが、志多留のおじいちゃんおばあちゃんのお話を借りながら、頑張ってきたと思います！来月の田んぼの便りもお楽しみに♪

お問い合わせ
 ぐらしをつくる会社です。

一般社団法人MIT
 Tel:0920-85-1755
 E-mail: info@mit.or.jp

